

主要な経営指標

主要な経営指標等の推移

(単位：百万円)

	平成21年度中間	平成22年度中間	平成23年度中間	平成21年度	平成22年度
連結経常収益	44,388	41,013	42,612	85,683	80,446
連結経常利益	2,505	5,770	11,880	6,434	13,702
連結中間(当期)純利益	1,368	2,712	6,704	3,554	7,443
連結(中間)包括利益	—	5,495	11,694	—	6,306
連結純資産額	154,206	161,159	171,397	156,687	160,718
連結総資産額	3,532,564	3,613,673	3,754,705	3,571,535	3,696,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,560	54,650	17,541	90,131	169,548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40,761	△47,541	△82,014	△95,702	△82,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,026	△1,023	△9,021	△2,046	△2,276
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	49,892	52,587	57,429	46,502	130,923

(単位：円)

	平成21年度中間	平成22年度中間	平成23年度中間	平成21年度	平成22年度
1株当たり純資産額	4,444.97	4,631.27	4,923.53	4,508.54	4,618.18
1株当たり中間(当期)純利益金額	40.35	80.01	197.91	104.82	219.44
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額	—	—	197.88	—	—

(単位：%、倍)

	平成21年度中間	平成22年度中間	平成23年度中間	平成21年度	平成22年度
連結自己資本比率(国内基準)	10.47	10.82	10.73	10.58	10.79
連結自己資本利益率	—	—	—	2.39	4.81
連結株価収益率	—	—	—	25.60	12.28

(単位：人)

	平成21年度中間	平成22年度中間	平成23年度中間	平成21年度	平成22年度
従業員数	2,291	2,324	2,345	2,253	2,284
[外、平均臨時従業員数]	[1,107]	[1,057]	[973]	[1,101]	[1,042]

- (注) 1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
 2. 1株当たり情報の算定上の基礎は、18ページ「注記事項」の「1株当たり情報」に記載しております。
 3. 平成21年度中間連結会計期間、平成22年度中間連結会計期間、平成21年度及び平成22年度の潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。
 4. 連結自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき平成18年金融庁告示第19号に定められた算式に基づき算出しております。当行は、国内基準を採用しております。
 5. 平成21年度中間連結会計期間及び平成22年度中間連結会計期間の平均臨時従業員数は、第2四半期連結会計期間における平均雇用人員数であります。
 6. 平成22年度中間連結会計期間の連結中間包括利益の算定に当たり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理をしております。

連結自己資本比率(国内基準)

(単位：百万円)

		平成22年9月30日	平成23年9月30日
基本的項目 (Tier1)	資本金	45,743	45,743
	資本剰余金	39,438	38,351
	利益剰余金	62,992	72,095
	自己株式(△)	2,053	901
	社外流出予定額(△)	1,017	1,016
	新株予約権	—	6
	連結子法人等の少数株主持分のれん相当額(△)	4,104	4,578
	計(A)	149,136	158,803
補完的項目 (Tier2)	土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,668	5,665
	一般貸倒引当金	17,386	11,892
	負債性資本調達手段等 うち期限付劣後債務及び期限付優先株(注1)	34,500	25,700
	計	57,555	43,257
	うち自己資本への算入額(B)	51,769	43,118
控除項目	控除項目(C)(注2)	23	23
自己資本額	(A)+(B)-(C)(D)	200,881	201,898
リスク・アセット等	資産(オン・バランス)項目	1,724,705	1,753,722
	オフ・バランス取引等項目	18,516	14,850
	信用リスク・アセットの額(E)	1,743,221	1,768,573
	オペレーショナル・リスク相当額に係る額((G)/8%)(F)	112,862	111,764
	(参考) オペレーショナル・リスク相当額(G)	9,029	8,941
	計(E)+(F)(H)	1,856,084	1,880,337
連結自己資本比率(国内基準) = (D)/(H) × 100(%)		10.82	10.73
(参考) Tier1比率 = (A)/(H) × 100(%)		8.03	8.44

- (注) 1. 告示第29条第1項第4号及び第5号に掲げるものであります。ただし、期限付劣後債務は契約時における償還期間が5年を超えるものに限定されております。
 2. 告示第31条第1項第1号から第6号に掲げるものであり、他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額、及び第2号に規定するものに対する投資に相当する額が含まれております。

リスク管理債権

(単位：百万円)

	平成22年度中間		平成23年度中間	
	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)
破綻先債権額	11,249	0.41	7,112	0.25
延滞債権額	46,567	1.71	47,641	1.69
3カ月以上延滞債権額	29	0.00	167	0.00
貸出条件緩和債権額	16,424	0.60	18,359	0.65
合 計	74,270	2.73	73,281	2.61

(注) 割合は、貸出金に占める各債権額の比率を示しております。

セグメント情報等

<平成22年度中間>

1.セグメント情報

1.報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議等においてその業績を評価するため、経営成績を定期的に検討する銀行業セグメント及びリース業セグメントを対象としております。

銀行業セグメントでは、銀行の主要業務である預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、また、リース業セグメントでは、金融関連業務としてのリース業務を行っております。

なお、報告セグメントに含まれていない事業については「その他」に集約し一括して計上しております。

2.報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は経常利益ベースの数値であり、また、セグメント間の内部経常収益は第三者間取引価格に基づいております。

3.報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	35,683	4,172	39,856	1,156	41,013
セグメント間の内部経常収益	168	135	304	592	896
計	35,852	4,307	40,160	1,749	41,909
セグメント利益又は損失(△)	5,645	418	6,064	△265	5,799
セグメント資産	3,598,014	23,360	3,621,374	17,720	3,639,094
セグメント負債	3,440,488	20,331	3,460,820	13,551	3,474,372
その他の項目					
減価償却費	1,248	15	1,263	6	1,270
資金運用収益	29,249	1	29,250	171	29,421
資金調達費用	3,515	100	3,616	24	3,640
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,479	45	1,525	6	1,531

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、以下の業務を含んでおります。

信用保証業務、クレジットカード業務、金銭の貸付業務、コンピュータシステム開発・販売・保守管理業務、県内経済・産業の調査研究、経営・税務等の相談、ベンチャー企業への投資、経営相談

4.報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と中間連結損益計算書の経常収益計上額

(単位：百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	40,160
「その他」の区分の経常収益	1,749
セグメント間取引消去	△896
中間連結損益計算書の経常収益	41,013

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

主要な経営指標

(2) 報告セグメントの利益又は損失の合計額と中間連結損益計算書の経常利益計上額

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	6,064
「その他」の区分の損失(△)	△265
セグメント間取引消去	△19
のれんの償却額	△9
中間連結損益計算書の経常利益	5,770

(3) 報告セグメントの資産の合計額と中間連結貸借対照表の資産計上額

(単位：百万円)

資産	金額
報告セグメント計	3,621,374
「その他」の区分の資産	17,720
セグメント間取引消去	△25,421
中間連結貸借対照表の資産合計	3,613,673

(4) 報告セグメントの負債の合計額と中間連結貸借対照表の負債計上額

(単位：百万円)

負債	金額
報告セグメント計	3,460,820
「その他」の区分の負債	13,551
セグメント間取引消去	△21,859
中間連結貸借対照表の負債合計	3,452,513

(5) 報告セグメントのその他の項目の合計額と当該項目に相当する科目の中間連結財務諸表計上額

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額	中間連結財務諸表計上額
減価償却費	1,263	6	—	1,270
資金運用収益	29,250	171	△63	29,357
資金調達費用	3,616	24	△62	3,578
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,525	6	—	1,531

2. 関連情報

1. サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	25,876	3,888	4,172	7,075	41,013

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

減損損失	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
	16	—	16	—	16

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

報告セグメントに配分されていないのれんの当中間連結会計期間の償却額は9百万円、当中間連結会計期間末の未償却残高は72百万円であります。これは、連結手続上において発生したものであります。

5.報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

<平成23年度中間>

1.セグメント情報

1.報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議等においてその業績を評価するため、経営成績を定期的に検討する銀行業セグメント及びリース業セグメントを対象としております。

銀行業セグメントでは、銀行の主要業務である預金業務、貸出業務、為替業務、有価証券投資業務等を行っており、また、リース業セグメントでは、金融関連業務としてのリース業務を行っております。

なお、報告セグメントに含まれていない事業については「その他」に集約し一括して計上しております。

2.報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は経常利益ベースの数値であり、また、セグメント間の内部経常収益は第三者間取引価格に基づいております。

3.報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
経常収益					
外部顧客に対する経常収益	38,138	3,980	42,118	1,173	43,291
セグメント間の内部経常収益	191	109	301	593	894
計	38,329	4,089	42,419	1,767	44,186
セグメント利益	11,275	231	11,506	423	11,930
セグメント資産	3,738,877	22,762	3,761,640	17,071	3,778,712
セグメント負債	3,571,886	19,206	3,591,092	12,593	3,603,685
その他の項目					
減価償却費	973	18	991	10	1,001
資金運用収益	28,389	1	28,390	134	28,524
資金調達費用	2,698	84	2,782	14	2,797
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,661	1	1,662	15	1,678

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、以下の業務を含んでおります。

信用保証業務、クレジットカード業務、金銭の貸付業務、コンピュータシステム開発・販売・保守管理業務、県内経済・産業の調査研究、経営・税務等の相談、ベンチャー企業への投資、経営相談

4.報告セグメント合計額と中間連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(1) 報告セグメントの経常収益の合計額と中間連結損益計算書の経常収益計上額

(単位：百万円)

経常収益	金額
報告セグメント計	42,419
「その他」の区分の経常収益	1,767
セグメント間取引消去	△894
貸倒引当金戻入益の調整額	△679
中間連結損益計算書の経常収益	42,612

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

(2) 報告セグメントの利益の合計額と中間連結損益計算書の経常利益計上額

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11,506
「その他」の区分の利益	423
セグメント間取引消去	△41
のれんの償却額	△9
中間連結損益計算書の経常利益	11,880

主要な経営指標

(3) 報告セグメントの資産の合計額と中間連結貸借対照表の資産計上額

(単位：百万円)

資産	金額
報告セグメント計	3,761,640
「その他」の区分の資産	17,071
セグメント間取引消去	△24,007
中間連結貸借対照表の資産合計	3,754,705

(4) 報告セグメントの負債の合計額と中間連結貸借対照表の負債計上額

(単位：百万円)

負債	金額
報告セグメント計	3,591,092
「その他」の区分の負債	12,593
セグメント間取引消去	△20,378
中間連結貸借対照表の負債合計	3,583,307

(5) 報告セグメントのその他の項目の合計額と当該項目に相当する科目の中間連結財務諸表計上額

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額	中間連結財務諸表計上額
減価償却費	991	10	—	1,001
資金運用収益	28,390	134	△57	28,467
資金調達費用	2,782	14	△55	2,741
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,662	15	—	1,678

2. 関連情報

1. サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	24,828	4,140	3,980	9,663	42,612

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

減損損失	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
	0	—	0	—	0

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

報告セグメントに配分されていないのれんの当中間連結会計期間の償却額は9百万円、当中間連結会計期間末の未償却残高は54百万円であります。これは、連結手続上において発生したものであります。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。